

# 河村 尚子

Hisako Kawamura (Piano)

河村尚子オフィシャル・ホームページ <http://www.hisakokawamura.com/ja/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

兵庫県西宮市生まれ。1986年渡独後、ハノーファー国立音楽芸術大学在学中にヴィオッティ(ヴェルチェリ)、カサグランデ、ゲーザ・アンダなどヨーロッパの数々のコンクールで優勝・入賞を重ねる。2006年には権威ある難関ミュンヘン国際コンクール第2位受賞。翌年、多くの名ピアニストを輩出しているクララ・ハスキル国際コンクールにて優勝を飾り、大器を感じさせる新鋭として世界の注目を浴びる。

ドイツを拠点に、ヨーロッパ、ロシア、日本などで積極的にリサイタルを行う傍ら、ウィーン交響楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、ロシア国立交響楽団、モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、バーミンガム市交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団などのソリストに迎えられている。また、「ルール・ピアノ祭」(ドイツ)、「オーヴェール・シュル・オアーズ音楽祭」(フランス)、「ドシュニキ国際ショパン・フェスティバル」(ポーランド)、日本では「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」や「東京・春・音楽祭」などの音楽祭に参加。2011年には、ドイツ・ワイマール近郊にあるエッターズブルク城での音楽祭でアーティスト・イン・レジデンスをつとめ、4夜にわたるソロ・リサイタルを開催し、絶賛を博す。

室内楽では、ハーゲン・クアルテットの名チェリスト、クレメンス・ハーゲンとのデュオで好評を得ているほか、マキシミリアン・ホルヌング(チェロ)とロンドン・ウィグモアホール、ラモン・オルテガ・ケロ(オーボエ)とニューヨーク・カーネギーホールにデビューするなど、同世代の実力派アーティストとも積極的な活動を展開している。

日本では、2004年小林研一郎指揮東京フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会でデビュー。以来、パーヴォ・ヤルヴィ指揮NHK交響楽団を含む日本国内の主要オーケストラと相次いで共演を重ねる一方、ウラディミール・フェドセーエフ指揮モスクワ放送交響楽団、ファビオ・ルイーヅ指揮ウィーン交響楽団、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団、マレク・ヤノフスキ指揮ベルリン放送交響楽団、イルジー・ビエロフラーヴェク指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団などの日本ツアーに参加。その他、サー・ロジャー・ノリントン、ユーリ・テミルカーノフ、アレクサンドル・ラザレフなど多くの指揮者から度々再演の指名を受けている。

現在、2019年の日本デビュー15周年に向けて、2年にわたり「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ・プロジェクト」に取り組み、自ら厳選した14のソナタを全4回のリサイタルで披露している。

2009年、名門RCA Red Sealレーベルより「夜想(ノットウルノ)〜ショパンの世界」でメジャー・CDデビュー。2011年9月、セカンド・アルバム「ショパン:ピアノ・ソナタ第3番&シューマン:フモレスケ」をリリース、各誌で

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

特選盤に選定される。2013 年秋、サード・アルバム「ショパン:バラード」のリリースを経て、2014 年秋には、ブラハ・ルドルフィヌムでのチェコ・フィルとの定期演奏会、およびドイツ・エルマウ城でのクレメンス・ハーゲンとの演奏会をライブ収録した「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第 2 番&チェロ・ソナタ」をリリースした。2018 年には 4 年ぶりのソロ・アルバム「ショパン:24 の前奏曲&幻想ポロネーズ」をリリースし、2019 年 4 月、「月光」「悲愴」を含む待望のベートーヴェン CD をリリースする。

その他のレコーディングとして、ソロでは仏ディスコヴェール(2002 年/同レコーディングは XRCD 化され、日本伝統文化振興財団より 2012 年 6 月に再発売された)、独アウディーテ(2004 年)、ルール・ピアノ音楽祭エディション(2008 年/ライブ録音)が、また日本コロムビアからシューマンのピアノ五重奏曲(2010 年/トッパンホール)、京響レーベルからラフマニノフのパガニーニ狂詩曲(2009 年/広上淳一指揮京響との共演)、独コヴィエロ・クラシックからモーツァルトのピアノ協奏曲第 21 番(2014 年/ボストック指揮アルゴヴィア・フィルとの共演)がリリースされている。

また、国際ピアノ・コンクールにおける若者たちの群像劇をリアルに描いた、作家・恩田陸の直木賞受賞小説を原作とした映画『蜜蜂と遠雷』(2019 年 10 月公開)では主人公・栄伝亜夜のピアノ演奏を担当し話題をさらっている。

文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞、新日鉄音楽賞、出光音楽賞、日本ショパン協会賞、井植文化賞、ホテル・オークラ賞を受賞。

これまで、ウラディーミル・クライネフ、澤野京子、マウゴルジャータ・バートル・シュライバーの各氏に師事。現在、ドイツ・エッセンのフォルクヴァング芸術大学教授、東京音楽大学特任講師。

(2019 年 3 月現在、2000 字)

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

**JAPAN ARTS CORPORATION**

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

# 河村 尚子 Hisako Kawamura (Piano)

河村尚子オフィシャル・ホームページ <http://www.hisakokawamura.com/ja/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載させていただきますよう、お願い申し上げます。)

ハノーファー国立音楽芸術大学在学中、ミュンヘン国際コンクール第2位、クララ・ハスキル国際コンクール優勝で一躍世界の注目を浴びる。ヤノフスキ／ベルリン放送交響楽団、ノリントン／NHK交響楽団等と共演し、2013年にはテミルカーノフ／読売日本交響楽団、ラザレフ／日本フィルハーモニー交響楽団、チェロのクレメンス・ハーゲンとのデュオのほか、名門チェコ・フィルとのプラハ公演および日本ツアーで大成功をおさめた。2014年にデビュー10周年を迎え、2015年シーズンには、M. ホルヌング（チェロ）とロンドン・ウィグモアホール、R. オルテガ・ケロ（オーボエ）とカーネギーホールでのデビューを含め、同世代の実力派演奏家たちとも多角的な活動が展開される。

新日鉄音楽賞、出光音楽賞、日本ショパン協会賞、井植文化賞受賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞、ホテル・オークラ音楽賞を受賞。主なCDに「夜想（ノットウルノ）〜ショパンの世界」「ショパン：ピアノ・ソナタ第3番、シューマン：フモレスケ」「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、チェロ・ソナタ」など(RCA Red Seal)。

(2015年5月現在、500字)

# 河村 尚子 Hisako Kawamura (Piano)

河村尚子オフィシャル・ホームページ <http://www.hisakokawamura.com/ja/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載させていただきますよう、お願い申し上げます。)

ミュンヘン国際コンクール第2位、クララ・ハスキル国際コンクールで優勝。これまでヤノフスキ／ベルリン放送響、テミルカーノフ／読売日本交響楽団等と共演。2013年には、チェロのC. ハーゲンとのデュオ、チェコ・フィルとのプラハ公演および日本ツアーで大成功をおさめた。2014年にデビュー10周年。2015-2016シーズンも、室内楽でウィグモアホール、カーネギーホールへのデビューが予定されている。

新日鉄音楽賞、出光音楽賞、日本ショパン協会賞、井植文化賞受賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞、ホテル・オークラ音楽賞を受賞。最新譜CDは「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、チェロ・ソナタ」(RCA Red Seal)。

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

# Hisako Kawamura (Piano)

<http://www.hisakokawamura.com>

Born in Nishinomiya (Japan), moved to Düsseldorf (Germany) with her family at the age of 5, where she started to study piano under Kyoko Sawano.

There are two mentors in Kawamura's musical education: Malgorzata Bator-Schreiber in Göttingen who built her up musically and artistically, and Prof. Vladimir Krainev at the Hannover University of Music and Drama who developed her further to an artistic personality.

After numerous outstanding successes at renowned international piano competitions, Kawamura's international concert career began. She won the first prizes at the Concours Clara Haskil in Vevey, the A. Casagrande International Piano Competition in Terni, the G.B. Viotti International Music Competition in Vercelli and the European Chopin Competition in Darmstadt, she became laureate at the Concours Géza Anda in Zurich, the ARD International Music Competition in Munich and the Queen Elisabeth International Music Competition in Brussels.

In the spring of 2012, she performed with Roger Norrington and NHK Symphony Orchestra as well as with Michael Pletnev and Russian National Orchestra in Japan with much success. She has also performed with such orchestras as the Bavarian Radio Symphony Orchestra, the

Nationaltheater-Orchestra Mannheim, the Munich Chamber Orchestra, the Vienna Symphony Orchestra, the Tonhalle Orchestra Zurich, the Bern Symphony Orchestra, the Lausanne Chamber Orchestra, the Radio Symphony Orchestra Moscow, the Moscow Virtuosi, the Slovenian Philharmonic, the National Philharmonic Orchestra of Ukraine, St. Petersburg Philharmonic Orchestra, Rundfunk Sinfonieorchester Berlin, the NHK Symphony Orchestra, the Tokyo Philharmonic Orchestra, the Japan Philharmonic Orchestra, the Yomiuri Symphony Orchestra, the Kyoto Symphony Orchestra and worked together with conductors like Paolo Arrivabeni, Vladimir Fedossejev, Thierry Fischer, Theodor Guschelbauer, Junichi Hirokami, Norichika Iimori, Eliahu Inbal, Daniel Inbal, Kenichiro Kobayashi, Fabio Luisi, Erwin Lukac, Eiji Oue, Tatsuya Shimono, Saulius Sondeckis, Vladimir Spivakov, Jun Märkl, Alexander Dmitriev, Alexander Lazarev, Marek Janowski among many others.

She performed at the Rudolffium in Prague in the Subscription series of the Czech Philharmonic followed by the tour of Japan with the Czech Philharmonic conducted by Jiří Bělohlávek in the autumn of 2013 with great success.

Besides her solo activity, in which Kawamura has participated at major music festivals like Klavierfestival Ruhr, Festspiele Mecklenburg-Vorpommern, Festival Auvers-sur-Oise, Carinthian Summer, Klavierwoche Ernen, Spoleto Festival dei Due Mondi, Chopin Festival Duszniki-Zdroj, La

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

**JAPAN ARTS CORPORATION**

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

folle journée au Japon, she also performs as a sensitive chamber musician.

She has released ‘Chopin Ballades’ as her third album this fall from the RCA Red Seal label. Her previous releases include ‘Hisako Kawamura plays Chopin’ released as Super Audio CD and

‘Chopin Sonata No. 3 and Schumann Humoresque’ both receiving high acclaims from music critics. Other recordings include works of Mozart, Schubert and Prokofiev released from “DiscAuver” label, and works by Schubert and Schumann from “audite” label.

She has been encouraged by numerous scholarships from prestigious organizations, including the German piano company Ibach, the European Yamaha Foundation, Deutsche Stiftung Musikleben and Rohm Music Foundation.

In Japan, Kawamura’s music activity was awarded the prestigious Art Encouragement Prize for New Artists of Music in spring of 2012 from the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. She was also awarded by three important Music Prizes in 2009; the Fresh Artist Music Prize of the Nippon Steel Corporation, the IDEMITSU Music Prize of Idemitsu Kosan and the Prize of the Chopin Society Japan.

2015/16 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.

(April 2016)